

年間授業計画

教科:(保健体育)科目:(保健) 対象:(第2学年M1組～S組)

教科担当者:(M1組:㊟)(M2組:㊟)(E組:㊟)(A組:㊟)(S組:㊟)

単位数 1

教科書 最新高等 保健体育[改訂版] 大修館

1年間の計画を確認した後押印

教科	教務	副校長	校長

	指導内容 【年間授業計画】	科目保健の具体的な指導目標 (自校のスタンダード) 【年間授業計画】	評価の観点等	予定 時 数
4月	2単元 生涯を通じる健康 保健授業に関する導入。「生涯を通じる健康」について考え、異性を尊重する態度や性に関する情報等への対処、適切な意思決定や行動選択の必要性を認識させる。 ①思春期と健康 ②性への関心・欲求と性行動	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深め、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質や能力を育てる。 特に第2学年の「生涯を通じる健康」では、生涯の各段階において健康についての課題があり、自らこれに適切に対応があること及びわが国の保健・医療制度や期間を適切に活用することが重要であることについて理解できるようにする。	授業への出席、態度・取組、期末考査の成績及び授業時に作成しているノート・プリント等の内容点検の結果を総合的に判断する。 特に、下記の項目について理解できているかどうか。 ①思春期と健康 思春期における体の変化について説明できる。 ②性への関心・欲求と性行動 性意識の男女差を理解し、性情報が性行動の選択に影響を及ぼすことを説明できる。	
5月	2単元 生涯を通じる健康 保健授業に関する導入。「生涯を通じる健康」について考え、異性を尊重する態度や性に関する情報等への対処、適切な意思決定や行動選択の必要性を認識させる。 ③妊娠・出産と健康 ④避妊法と人工妊娠中絶	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深め、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質や能力を育てる。 特に第2学年の「生涯を通じる健康」では、生涯の各段階において健康についての課題があり、自らこれに適切に対応があること及びわが国の保健・医療制度や期間を適切に活用することが重要であることについて理解できるようにする。	授業への出席、態度・取組、期末考査の成績及び授業時に作成しているノート・プリント等の内容点検の結果を総合的に判断する。 特に、下記の項目について理解できているかどうか。 ③妊娠・出産と健康 妊娠・出産の過程における健康課題について説明できる。 ④避妊法と人工妊娠中絶 家族計画の意義、適切な避妊法や人工妊娠中絶の問題点について理解出来る。	
6月	2単元 生涯を通じる健康 保健授業に関する導入。「生涯を通じる健康」について考え、異性を尊重する態度や性に関する情報等への対処、適切な意思決定や行動選択の必要性を認識させる。 ⑤結婚生活と健康 ⑥中高年期と健康	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深め、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質や能力を育てる。 特に第2学年の「生涯を通じる健康」では、生涯の各段階において健康についての課題があり、自らこれに適切に対応があること及びわが国の保健・医療制度や期間を適切に活用することが重要であることについて理解できるようにする。	授業への出席、態度・取組、期末考査の成績及び授業時に作成しているノート・プリント等の内容点検の結果を総合的に判断する。 特に、下記の項目について理解できているかどうか。 ⑤結婚生活と健康 結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動を理解できる。 ⑥中高年期と健康 加齢と壮年期以降の健康課題について理解出来る。	

	指導内容 【年間授業計画】	科目保健の具体的な指導目標 (自校のスタンダード) 【年間授業計画】	評価の観点等	予 定 時 数
7 月	2 単元 生涯を通じる健康 保健授業に関する導入。「生涯を通じる健康」について考え、異性を尊重する態度や性に関する情報等への対処、適切な意思決定や行動選択の必要性を認識させる。 ⑥中高年期と健康	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深め、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質や能力を育てる。 特に第2学年の「生涯を通じる健康」では、生涯の各段階において健康についての課題があり、自らこれに適切に対応があること及びわが国の保健・医療制度や期間を適切に活用することが重要であることについて理解できるようにする。	授業への出席、態度・取組、期末考査の成績及び授業時に作成しているノート・プリント等の内容点検の結果を総合的に判断する。特に、下記の項目について理解できているかどうか。 ⑥中高年期と健康 加齢と壮年期以降の健康課題について理解出来る。	
8 月				
9 月	2 単元 生涯を通じる健康 保健授業に関する導入。「生涯を通じる健康」について考え、異性を尊重する態度や性に関する情報等への対処、適切な意思決定や行動選択の必要性を認識させる。 ⑦医薬品とその活用 ⑧医療サービスとその活用	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深め、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質や能力を育てる。 特に第2学年の「生涯を通じる健康」では、生涯の各段階において健康についての課題があり、自らこれに適切に対応があること及びわが国の保健・医療制度や期間を適切に活用することが重要であることについて理解できるようにする。	授業への出席、態度・取組、期末考査の成績及び授業時に作成しているノート・プリント等の内容点検の結果を総合的に判断する。特に、下記の項目について理解できているかどうか。 ⑦医薬品とその活用 医薬品の正しい使用法と医薬品の安全性を守る取り組みについて理解出来る。 ⑧医療サービスとその活用 身の回りの保険・医療機関について理解出来る。	

	指導内容 【年間授業計画】	科目保健の具体的な指導目標 (自校のスタンダード) 【年間授業計画】	評価の観点等	予 定 時 数
10月	2 単元 生涯を通じる健康 各種環境問題や四代公害病等の時事問題を中心に引き上げ、学校や地域環境を健康に適したものにするよう基準が設定され、環境衛生活動が行われていることなど、生徒に身近な問題として捉えさせる。 ⑨保健サービスとその活用 ⑩さまざまな保健活動や対策	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深め、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質や能力を育てる。 特に第2学年の「生涯を通じる健康」では、生涯の各段階において健康についての課題があり、自らこれに適切に対応があること及びわが国の保健・医療制度や期間を適切に活用することが重要であることについて理解できるようにする。	授業への出席、態度・取組、期末考査の成績及び授業時に作成しているノート・プリント等の内容点検の結果を総合的に判断する。特に、下記の項目について理解できているかどうか。 ⑨保健サービスとその活用 保健行政の役割と保健サービスの活用について理解できる。 ⑩さまざまな保健活動や対策 民間機関・国際機関などの保健活動や対策について理解できる。	
11月	3 単元 社会生活と健康 各種環境問題や四代公害病等の時事問題を中心に引き上げ、学校や地域環境を健康に適したものにするよう基準が設定され、環境衛生活動が行われていることなど、生徒に身近な問題として捉えさせる。 ①大気汚染と健康 ②水質汚濁、土壌汚染と健康	私たちが健康的な社会生活を営むうえで、身のまわりの自然環境や食品、労働などに関する健康問題を学ぶことは必要不可欠です。私たち一人ひとりが、それらの問題に積極的にいかかわることと同時に、社会の制度や取り組み・活動のあり方も重要となります。ここでは社会全体の健康を高めるためにも、環境・食品・労働と健康との関係について学ぶ。	授業への出席、態度・取組、期末考査の成績及び授業時に作成しているノート・プリント等の内容点検の結果を総合的に判断する。特に、下記の項目について理解できているかどうか。 ①大気汚染と健康 地球環境問題、オゾン層の破壊について理解できる。 ②水質汚濁、土壌汚染と健康 水質汚濁、土壌汚染の原因とその健康影響について理解できる。	
12月	3 単元 社会生活と健康 各種環境問題や四代公害病等の時事問題を中心に引き上げ、学校や地域環境を健康に適したものにするよう基準が設定され、環境衛生活動が行われていることなど、生徒に身近な問題として捉えさせる。 ②水質汚濁、土壌汚染と健康	私たちが健康的な社会生活を営むうえで、身のまわりの自然環境や食品、労働などに関する健康問題を学ぶことは必要不可欠です。私たち一人ひとりが、それらの問題に積極的にいかかわることと同時に、社会の制度や取り組み・活動のあり方も重要となります。ここでは社会全体の健康を高めるためにも、環境・食品・労働と健康との関係について学ぶ。	授業への出席、態度・取組、期末考査の成績及び授業時に作成しているノート・プリント等の内容点検の結果を総合的に判断する。特に、下記の項目について理解できているかどうか。 ②水質汚濁、土壌汚染と健康 水質汚濁、土壌汚染の原因とその健康影響について理解できる。	

	指導内容 【年間授業計画】	科目保健の具体的な指導目標 (自校のスタンダード) 【年間授業計画】	評価の観点等	予定 時 数
1 月	3単元 社会生活と健康 各種環境問題や四代公害病等の時事問題を中心に取り上げ、学校や地域環境を健康に適したものにしよう基準が設定され、環境衛生活動が行われていることなど、生徒に身近な問題として捉えさせる。 ③環境汚染を防ぐ取り組み ④ごみの処理と上下水道の整備	私たちが健康的な社会生活を営むうえで、身のまわりの自然環境や食品、労働などに関する健康問題を学ぶことは必要不可欠です。私たち一人ひとりが、それらの問題に積極的にかかわることと同時に、社会の制度や取り組み・活動のあり方も重要となります。ここでは社会全体の健康を高めるためにも、環境・食品・労働と健康都の関係について学ぶ。	授業への出席、態度・取組、期末考査の成績及び授業時に作成しているノート・プリント等の内容点検の結果を総合的に判断する。 特に、下記の項目について理解できているかどうか。 ③環境汚染を防ぐ取り組み こんにちの環境汚染の特徴や環境汚染を防ぐためのさまざまな取り組みについて理解できる。 ④ごみの処理と上下水道の整備 ごみの処理の現状や、安全で質の良い水を確保するためのしくみについて理解できる。	
2 月	3単元 社会生活と健康 各種環境問題や四代公害病等の時事問題を中心に取り上げ、学校や地域環境を健康に適したものにしよう基準が設定され、環境衛生活動が行われていることなど、生徒に身近な問題として捉えさせる。 ⑤食品の安全を守る活動 ⑥働くことと健康	私たちが健康的な社会生活を営むうえで、身のまわりの自然環境や食品、労働などに関する健康問題を学ぶことは必要不可欠です。私たち一人ひとりが、それらの問題に積極的にかかわることと同時に、社会の制度や取り組み・活動のあり方も重要となります。ここでは社会全体の健康を高めるためにも、環境・食品・労働と健康都の関係について学ぶ。	授業への出席、態度・取組、期末考査の成績及び授業時に作成しているノート・プリント等の内容点検の結果を総合的に判断する。 特に、下記の項目について理解できているかどうか。 ⑤食品の安全を守る活動 食品の安全のために行政や生産・製造者と私たち消費者がおこなうべきことについて理解できる。 ⑥働くことと健康 働く人の健康問題と労働災害の防ぎ方について理解できる。	
3 月	3単元 社会生活と健康 各種環境問題や四代公害病等の時事問題を中心に取り上げ、学校や地域環境を健康に適したものにしよう基準が設定され、環境衛生活動が行われていることなど、生徒に身近な問題として捉えさせる。 ⑥働くことと健康	私たちが健康的な社会生活を営むうえで、身のまわりの自然環境や食品、労働などに関する健康問題を学ぶことは必要不可欠です。私たち一人ひとりが、それらの問題に積極的にかかわることと同時に、社会の制度や取り組み・活動のあり方も重要となります。ここでは社会全体の健康を高めるためにも、環境・食品・労働と健康都の関係について学ぶ。	授業への出席、態度・取組、期末考査の成績及び授業時に作成しているノート・プリント等の内容点検の結果を総合的に判断する。 特に、下記の項目について理解できているかどうか。 ⑥働くことと健康 働く人の健康問題と労働災害の防ぎ方について理解できる。	